

会 議 録					
行田市教育委員会 令和6年 第8回 7月定例会					
招集年月日	令和6年7月25日(木)		開会場所	行田市産業文化会館管理棟 2A会議室	
開閉の時刻 及び宣言者	開会	7月25日(木)	午後 2時00分	教育長 渡辺 充	
	閉会	7月25日(木)	午後 3時45分	教育長 渡辺 充	
教育長	渡辺 充	教育長職務代理者	鹿山 高彦	仮議長	
席次番号	出席の教育長 及び委員氏名	摘 要			
1	渡辺 充				
2	鹿山 高彦				
3	大澤 恵子				
4	大竹 洋平				
5	大木 華子				
議 事 参 与 者			書 記		
学校教育部長	細谷 博之	書記長	岡部 将弘		
生涯学習部長	中村 和則	書記次長	上野恵美子		
学校教育部次長		書記	萩原 宏幸		
兼教育指導課長	石崎 昌稔				
生涯学習部次長兼図書館長					
兼視聴覚ライブラリー館長	松田 正				
教育総務課長	岡部 将弘				
学校給食センター所長	飯田 勝雄				
生涯学習課長	近藤 隆洋				
文化財保護課長	酒井 春彦				
教育文化センター所長					
兼中央公民館長	新井 大				
郷土博物館長	鈴木紀三雄				
学校教育部副参事	大野 三佳				
教育支援センター所長	篠田 豊和				
教育指導課主幹	樋田 陽介				
教育指導課主幹	小野寺北斗				

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況		教育長 会議の公開について諮る前に、傍聴人の確認を事務局にお願いする。	
		教育総務課長 本日、傍聴人は6名である。	
		教育長 本日の会議日程は議案3件である。日程第1議案48号は教科用図書の採択に係る部分のみ非公開とし、採択に先立つ報告、協議並びにその他の議案及び報告は公開としてよろしいか。	
		<b>【全委員承認】</b>	
		教育長 日程に先立ち、6月定例会の会議録について事務局に報告を求める。	
		書記次長 6月定例会会議録報告	
		教育長 何か意見等はあるか。	
		<b>【全委員承認】</b>	
	議案第49号	教育長提案、書記次長議案朗読	
	行田市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	学校給食センター所長 本案は、行田市立学校給食センター運営委員会について、令和6年7月31日をもって任期満了となることから、新たな委員の委嘱について提案するものである。本委員会は、行田市立学校給食センター設置及び管理条例に基づき設置され、行田市	

	<p>議案50号 行田市郷土博物館協議会委員の任命について</p>	<p>立学校給食センター運営委員会規則に基づき、学校給食の年間事業計画等を審議いただくものである。委員の委嘱予定者は当該規則の選出区分により、小中学校長2名、小中学校のPTA会長2名、小中学校の食育主任2名、加須保健所長をそれぞれの選出母体から推薦をいただいた方々である。</p> <p>任期については、令和6年8月1日から令和7年7月31日までの1年間で、新任が5名、再任が2名である。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>鹿山委員 去年までは市長、教育長及び教育委員からも1名委嘱されていたが、今回は委嘱されていないがどのような経緯があるのか。</p> <p>学校給食センター所長 令和6年1月18日の行田市立学校給食センター運営委員会規則改正において、市長と教育長が委員と規定されていたが、附属機関であることから、市長と教育長を除いたためである。教育委員についても、第1号委員と定められているが、同じく附属機関であることから、委員から除いた。</p> <p>今後、運営委員会の組織について規則改正をして対応していく予定である。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>郷土博物館長 本案は、行田市郷土博物館協議会委員が、7月31日をもって任期満了となるのに伴い、新たに委員を委嘱しようとするものである。委員の選出については、行田市郷土博物館条例第3条の規定に、1号の委員が学校教育および社会教育関係者、2号委員が家庭教育の向上に資する活動を行う者、3号委員が学識経験のある者となっていることから、各関係団体から推薦をいただいた方と学識経験者を合わせて9名の方を委嘱しようとする。</p>
--	---------------------------------------	--

	<p>議案 48 号 令和 7 年度使用中学校教科 用図書の採択について</p>	<p>するものである。</p> <p>なお、任期については令和 6 年 8 月 1 日から令和 8 年 7 月 31 日までの 2 年間とする。</p> <p>また、この協議会は、毎年 2 回開催しており、各年度における事業報告や事業計画に対し、審議、指導いただいている。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育長 協議は、教科ごとに進めてよいか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育指導課長 提案理由について説明する。</p> <p>令和 7 年度使用教科書の採択事務処理について、令和 6 年 3 月 29 日付け第 34 号各都道府県教育委員会教科書関係事務主管課長宛て文部科学省初等中等教育局教科書課長通知において、中学校用教科書の採択については、全ての教科書について、令和 5 年度に採択したものと異なる教科書を採択することができる。その際、中学校用教科書目録（令和 7 年度使用）に登載されているもののうちから採択することとされる。これに伴い、令和 7 年度から使用する行田市立中学校用教科用図書について中学校用教科書目録（令和 7 年度使用）に登載された教科用図書のうちから採択を行う必要がある。</p> <p>また、採択の権限は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号により、行田市教育委員会が有するため、議案として提案するものである。</p> <p>まず、国語について東京書籍から報告する。</p> <p>「読むこと」の教材では、手引として課題が設定されており、「振り返る」では、学習者相互の考えを交流させて、発表、話し</p>
--	--	--

		<p>いなど、学んだことを活用していく言語活動が設定されている。</p> <p>三省堂については、対話や話し合いなどの共同的な言語活動の場を適切に設け、合意形成の具体的な方法や論理的思考力、説得性のある表現力を身に付けさせるための教材が配置されている。</p> <p>教育出版については、「読むこと」教材の学習の手引では、「学びナビ」で系統性を明らかにするとともに、段階的な課題により、学習者同士が考えを比較することで協働的な学びが展開できるような言語活動が設定されている。</p> <p>最後に、光村図書については「思考のレッスン」、「情報整理のレッスン」では、文章における「情報の扱い方」を具体例や図解で示し、実生活に生きる情報活用能力の習得を図っている。</p> <p>教育長 国語について、意見があったらお願いします。</p> <p>大竹委員 教育出版は、各単元において「目標」、「みちしるべ」、「振り返り」、「最後の問」が設定されており、受け身にならず生徒達が能動的に考えることができると感じる。</p> <p>大澤委員 東京書籍は、単元に関連した図書を紹介しているページが要所所に設けられており、生徒の読書意欲を高める工夫がされていると感じた。</p> <p>大木委員 光村図書の「語彙ブック」は、生徒が自分の思考や感情を言語化してアウトプットするための力を育むことができると感じた。また、国語の学習を通じた人格形成の一助にもつながると感じた。</p> <p>鹿山委員 同じく光村図書は、文字のフォントや行間も適切で読みやすく感じた。また、文法や言葉の学習では、生徒の日常の言語生活から題材を取り上げており、必然性をもって学べるような工夫が見られると感じた。</p>
--	--	---

		<p>教育長</p> <p>次に書写について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>東京書籍については、毛筆では、朱書きをまねできるように応用して記載し、「書写のカギ」というポイントから書き方を確認できる工夫がされている。「生かそう」では毛筆で学習した点画の連続等を生かして硬筆で書くという構成で作られ、毛筆から硬筆へと学びがつながりやすいように構成されている。</p> <p>三省堂については、運筆を見開きで掲載し、書き方の一覧が巻末にあることで、一目で確認できるように工夫がされている。手本のページはポイントを絞り、情報が厳選されていて、必要な情報を自分で判断し応用して取り組むことができる設定がされている。</p> <p>教育出版については、「生かそう」では毛筆の筆の使い方の練習を行い、その動きを生かして、硬筆で文字を書くことにつなげ、毛筆と硬筆の関連を図っている。「まなびリンク」からデジタルコンテンツにリンクしており、「比較ツール」を使って自分が書いた文字と教材文字を比較して表示できる工夫がされている。</p> <p>最後に、光村図書については、書写ブックを利用することで、硬筆と毛筆の書き方や組み立てを学習することができ、定着を図るための工夫がされている。「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の学習の流れがあり、学びのカギがあることでポイントがわかり、学習の見通しが立てられる構成になっている。</p> <p>教育長</p> <p>書写について、意見があったらお願いします。</p> <p>大木委員</p> <p>東京書籍は、指を使ったり、比較したりすることで何を学ぶのか意識し、確認することができる工夫がされている。また、左利きの生徒に対する配慮もされているのがよいと思う。</p> <p>大澤委員</p> <p>教育出版は、文章表現が簡潔でわかりやすいと感じた。見開</p>
--	--	--

		<p>きを基本としたレイアウトは、生徒にとって見やすく、使いやすいと思う。</p> <p>鹿山委員</p> <p>光村図書は、全体的に文字が美しいと感じた。また、手紙の書き方について時候の挨拶、一字あける等、細やかなアドバイスがされており、さらに手書きで思いを伝えるよさについても扱っているのがよいと思う。</p> <p>大竹委員</p> <p>教育出版は、手を使って筆の使い方を体感させたり、中心線を示して配置を意識させたりする工夫が見られ、生徒が段階的に学習できるようになっている。</p> <p>教育長</p> <p>次に社会について報告をお願いする。報告は地理的分野、歴史的分野、公民的分野、地図の順でお願いする。</p> <p>教育指導課長</p> <p>まず、地理的分野について報告する。</p> <p>東京書籍については、「地理を学ぶ5つのミカタ」によって、地理を学ぶ視点がわかりやすく示され、「見方・考え方」を働かせながら自らの考えをまとめられるように工夫されている。</p> <p>教育出版については、「地理の窓」等のコラムでは、立場や場面によって視点が大きく異なる社会的事象を取り上げ、多面的、多角的に考察し、批判的に読み解くことで公正に判断する力を養うことができるように工夫されている。</p> <p>帝国書院については、対話を通して学びを深める「アクティブ地理」が設定されており、課題に粘り強く向き合う姿勢や、合意形成を目指す態度を身に付けられるように工夫されている。</p> <p>最後に、日本文教出版については、見開きまとめで「表現」の活動が設けられており、学習課題に対して「見方・考え方」を働かせながら、自分のことばでまとめることで思考力、判断力、表現力等を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>次に、歴史的分野について報告する。</p> <p>まず、東京書籍については、探究課題を解決するための「まとめの活動」では、「みんなでチャレンジ」等の活動を通して、節</p>
--	--	--

		<p>ごとに学習を振り返り、探究ステップを積み重ねることで多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。</p> <p>教育出版については、歴史学習の進め方を振り返って確認できるページがあり、生徒の自ら学びに向かう力を支援できるような工夫がされている。</p> <p>帝国書院については、章末の「学習を振り返ろう」では、「見方・考え方」を働かせて考えを整理したり、思考ツールを用いて対話をしたりすることで、思考力、判断力、表現力等を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>山川出版については、高校の授業との関連を考慮した記述がされており、世界史と日本史を関連付ける工夫がされている。</p> <p>日本文教出版については、「チャレンジ歴史」では、史料をもとに対話的に学ぶ活動を通して、「見方・考え方」を働かせて時代の転換を考えたり、選択、判断したりすることで、公正に判断する力を養うことができるように工夫されている。</p> <p>自由社については、「もっと知りたい」のコラムが複数挿入されており、授業で学んだ内容をより詳細に学ぶことができるような工夫がされている。</p> <p>育鵬社については、国家や文化の発展等に尽くした人物を載せたり、「人物クローズアップ」でその業績を紹介したりし、生き方や人間的魅力も学べるよう工夫されている。</p> <p>学び舎については、「学習のまとめ」では、各時代の特色を考察してグループやクラスで発表する活動が設定されており、表現の場を増やす工夫が見られる。</p> <p>最後に、令和書籍については、「まとめ学習」では、項目ごとに表にまとめたり、政治、文化、外交、産業の面から考察したりする活動を通して、時代を大観し、多面的、多角的に捉えることができるように工夫されている。</p> <p>次に、公民的分野について報告する。</p> <p>まず、東京書籍については、見開きのまとめ「チェック&amp;トライ」では、学習課題を振り返り、自分のことばでまとめることで表現力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>教育出版については、地理、歴史、公民の3分野の関わりが取り上げられている「関連コーナー」があり、3年間を通した知識の定着を図ることができる。</p> <p>帝国書院については、「アクティブ公民」では、具体例について根拠を示し解決策を考える等の意思決定する学習活動を通し</p>
--	--	---

		<p>て、現代社会の諸課題を「見方・考え方」を働かせて公正に判断し、議論する力を養うことができるように工夫されている。</p> <p>続いて、日本文教出版については、ポートフォリオやイントロダクションムービー等の教科書デジタルコンテンツが充実しており、自学自習の支援、生徒の学習意欲の向上につながるよう工夫されている。</p> <p>自由社については、公民にとって重要な言葉について「ミニ知識」のコラムを設けて解説しており、関連事項が理解できるようになっている。</p> <p>最後に、育鵬社については、「学習を深めよう」や「やってみよう」では、シミュレーションや対話的な活動を通して、社会的事象等について多面的・多角的に捉えられるように工夫されている。</p> <p>次に、地図について報告する。</p> <p>まず、東京書籍については、3分野の学習に活用できる主題図や、変化や比較等を読み取りやすくするために複数の資料を組み合わせる等、社会的事象を多面的、多角的に考察できるように工夫されている。</p> <p>帝国書院については、社会科3分野のほか、総合的な学習の時間等にも活用できる自然、産業、歴史等の様々な情報が地図上に掲載され、空間認識を伴った幅広い知識や教養が身に付けられる。</p> <p>教育長 社会、地理分野について意見を願います。</p> <p>大澤委員 東京書籍の地理は、生徒に興味、関心を抱かせるような導入が工夫されていると感じた。導入、展開、まとめといった学習展開が示されており、生徒が主体的に学習できると思う。</p> <p>大木委員 同じく東京書籍の地理は、各地の中学生が語るコラムがあり、読みやすく、諸地域を身近に感じられると思う。また、世界の諸地域を学ぶ際に地域の様子を想像するための写真が充実しており、生徒の知識定着のための視覚的な工夫がされている。</p>
--	--	--

		<p>大竹委員</p> <p>教育出版の地理は、穴埋め問題や、地図帳の活用など、テキスト以外の資料で調べながら学習を展開できるのがよいと感じた。自ら調べることによって、知識も定着すると思う。</p> <p>鹿山委員</p> <p>帝国書院の地理は、写真が豊富で見ていると楽しいと感じる。各ページに白地図や詳細な地図を載せており、視覚的に知識を深めることができるような工夫がされている。</p> <p>教育長</p> <p>続いて歴史分野について意見を願います。</p> <p>大木委員</p> <p>日本文教出版の歴史は、「学習課題」だけでなく、課題解決の手がかりとなる「見方・考え方」も示されており、生徒一人一人が着目点を意識しながら学習できると感じた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>帝国書院の歴史は、金錯銘鉄剣の出土が稲荷山古墳（埼玉県行田市）と明記されており、行田市の名前が載っている。これは、行田市の子どもたちにとって誇らしいと思う。</p> <p>大竹委員</p> <p>東京書籍の歴史は、生徒が話している吹き出しの内容を見ても、能動的な学習への取り組みを促しているように見える。テーマを設定したグループワークも示されており、みんなで声を出し合いながら、自身の思考を整理して、深められるような工夫がしてありとても良いと感じる。</p> <p>大澤委員</p> <p>同じく東京書籍は、他の教科との関連にも配慮が見られる。他の教科で関連している資料をリンクで示しており、教科横断的な学びが展開できるような工夫がしてあると感じた。</p> <p>教育長</p> <p>続いて公民分野について意見を願います。</p>
--	--	---

		<p>鹿山委員</p> <p>教育出版の公民は、学習の見通しをもたせるために、1単位時間ごとに学習課題が提示され、主体的な学びを促す工夫を感じる。また、法律的な課題をテーマにした特設ページが設定されており、生徒の視野を広げるのに効果的である。</p> <p>大澤委員</p> <p>その点で言うと、帝国書院では、現代社会に見られる様々な課題が設定されている。対話的な活動を通して様々な立場を踏まえた議論を行うことで、課題の追究、解決に向けて取り組めるような工夫がされていると感じる。</p> <p>大竹委員</p> <p>日本文教出版の公民は、高校の学習や他教科とのつながりが示されており、学びの発展的な見通しをもつことができるよう考慮されていると感じる。</p> <p>大木委員</p> <p>東京書籍の公民は、現代的な諸課題を自分事として捉えられるような工夫が見られる。「18歳へのステップ」といったコーナーを通じて、主権者意識を高め主体的に社会に参画する態度についても考えさせている。</p> <p>教育長</p> <p>続いて地図について意見をお願いします。</p> <p>大澤委員</p> <p>地図は、生徒にとって見やすく、わかりやすいものがよいと思う。その点において、帝国書院の地図は印刷が鮮明で、色彩も美しく、文字も見やすいと感じた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>地図は、掲載されているグラフや表などの資料も大切だと思う。帝国書院は、統計データも新しくなっており、国名も詳しく載っている。</p>
--	--	---

		<p>大木委員</p> <p>同じく帝国書院は、鳥瞰図が美しく楽しいと感じた。地図をながめる面白さを知ることから、地理への好奇心が広がることも期待できると思う。</p> <p>大竹委員</p> <p>東京書籍は、地図だけの情報に収まらず、気候や雨量、災害問題、食文化、宗教、環境問題など日本との対比も交えて記している。地図を通して、知識だけでなく、災害への意識も身につけられるようになっているのはよいと感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に数学について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>東京書籍については、数学と身のまわり、数学と社会、算数と数学などのつながり、数学的活動の楽しさや数学のよさを感じられるように日常生活や社会の問題を解決したり、数学の新しい性質を見いだしたりする活動を扱っている。</p> <p>大日本図書については、「学びにプラス（視点を増やそう）」では、学習をもとに別の考え方や逆の見方をする課題を通して統合的に考察する力や、既習の事項と結びつけて広げる課題を通して発展的に考察する力を養えるようにしている。</p> <p>学校図書については、統計資料のデータ分析が効率的にできる表計算ソフトの掲載や生徒の自由な質問にチャットボットが答える教科書アドバイザー「マスマス！」が導入されているなど、ICTコンテンツが充実している。</p> <p>教育出版については、Webサイト「まなびリンク」では、紙媒体では実現が難しい動的な表現や立体的な表現などによって学習の補助ツールとすることができ、シンプルなデザインから無理なく授業に活用することができる。</p> <p>啓林館については、「利用」の節には、「ステップ方式」の課題を必ず置き、事象を数学的に解釈し数学の問題を設定して数学的に表現、処理したり、考察したりしようとする姿勢が身に付くようにしている。</p> <p>数研出版については、既習事項をもとにした導入課題から始まり、学んできた内容を活用して新しい知識を見出すことを促</p>
--	--	---

		<p>している。学習のゴールが明確になるよう、その時間の学習活動が明記されている。</p> <p>最後に、日本文教出版については、統計資料等の素材やデータは、生徒の日常生活や将来の社会生活で役立つ場面を想定しており、どの地域の生徒にもなじみがあり、自分たちが住む地域のデータも入手しやすい題材となっている。</p> <p>教育長 数学について意見を願います。</p> <p>大竹委員 東京書籍は、教科書のテーマ「マスコネクト」を伝えることにより、大きい数学の流れを理解させている。その「つながり」を身の回りや社会と結びつけることで、生徒に身近に数学を感じて深められるようにしている。現実生活において、数学を当てはめて問題にしているのは良い。</p> <p>鹿山委員 中1ギャップが起こる時期は、特に丁寧でわかりやすい説明が必要だと思う。中学1年生のはじめの方の単元にある、「マイナスかけるマイナスがなぜプラスになるのか？」の説明に注目したが、すっきりとした説明は難しそうであった。ただ全般的に見ると、教育出版が解答を得るまでの過程が比較的ていねいに説明されていると感じる。</p> <p>大木委員 数研出版は、証明のみに一節の分量を当て、ていねいな記述がされている点が好ましいと感じた。巻末の「チャレンジ編」（補充問題）および該当学年までの学習のまとめが充実しており、参考書が有名な会社としての特徴を感じる。</p> <p>大澤委員 啓林館は、キャリア教育に配慮し、社会や様々な職業に関する題材を豊富に掲載している。また、防災教育や消費者教育、環境教育、日本の伝統や文化と数学とのかかわりを学ぶことができるようになっている。さらに、すべての生徒が支障なく学習できるように、様々な特性を考慮し、インクルーシブ教育に対す</p>
--	--	--

		<p>る配慮をしている。</p> <p>教育長 次に理科について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長 東京書籍については、「Before&amp;Afterシート」では、学習前と学習後に同じ問いを考えて記録することで、自分の考えの変容を知ることができ、自己肯定感の向上や学びに向かう力を涵養できる。</p> <p>大日本図書については、探究の過程がアイコンで示されており、さらに学年ごとに重視する項目が色分けされている。生徒が主体的に取り組みやすいように工夫されている。</p> <p>学校図書については、観察、実験では、手順がすべて写真で示されており、器具の配置などが理解しやすく工夫されており、基本操作が正しく習得できるように工夫されている。</p> <p>教育出版については、「ハローサイエンス」で科学に関するコラムを、「科学者列伝」で学習内容に関わる科学者を紹介し、日常生活との関わりを際立たせ、興味関心を引く工夫がなされている。</p> <p>啓林館については、「探Q実験」では、仮説や計画などを生徒自身が考える実験を設けている。「探Qシート」では、自分の考えを自由に書き込むことで対話が生まれ、生徒自身の考えの変化が見とれるように工夫されている。</p> <p>教育長 理科について意見ををお願いします。</p> <p>大澤委員 東京書籍は、「考察しよう」や「ここがポイント」において、学習内容をしっかり考えたり、大事なことをまとめたりすることができるようになってきているところがよい。学習内容の整理では、重要語句の説明があり、理解しやすいと感じる。</p> <p>鹿山委員 教育出版は、脊椎動物のレントゲン写真が白黒でサイズも小さくなっていた。あまりリアルな写真であると子どもたちが怖</p>
--	--	---

がる可能性もあり、よい配慮である。全体的に文字が大きいくっきりとしていて読みやすく、実験の注意を促す文字も赤字で太くなっているところが工夫されていると感じる。

#### 大木委員

学校図書は、QRコード経由のwebページにて、ふりがな分ち書きと5か国語への翻訳で本文を読むことができ、支援が必要な生徒や外国にルーツを持つ生徒などへの指導に利便性が高く、教員の負担軽減にもつながることが期待できると思う。

#### 大竹委員

啓林館では、実験も通常実験と巻末に「探Qシート」を活用する実験がある。特に探究してほしい実験にシートがあり、仮説を立てる、実験を計画するなど実験過程を示して、具体的に行えるようにしている。主体的に、また、協力し合い意見を出し合い記録をまとめられるシートになっていて、普段のノートの取り方の見本にもなると思う。

#### 教育長

次に音楽について報告をお願いする。報告は音楽一般、器楽合奏の順でお願いする。

#### 教育指導課長

まず、音楽、一般について報告する。

教育出版については、各学年の教科書に掲載されている「Sing! Sing!」、「Let's try!」では、セルフチェックや具体的なイラストの指示などが掲載されており、生徒が継続して取り組める工夫が見られる。聴き取ったこと、感じ取ったこと、調べたことなどの取組に加え、話し合い活動を随所に取り入れ、様々な価値観や捉え方が受容できるようになっている。

芸術社については、「学びのコンパス」では、学びの手立を示すことにより、見通しをもって学習に取り組むことができ、生徒同士の対話を促すことで、自己の考えを広げたり深めたりすることができる。歌唱教材については平易な曲から、学年が上がるにつれ混声三部合唱、混声四部合唱へと難易度が上がっている。

		<p>次に、音楽、器楽合奏について報告する。</p> <p>まず、教育出版については、楽器の音色を聞き分ける「表現の仕方を比べよう」や楽器を使った音楽創作ができる「音のスケッチ」のコーナーが設けられている。楽器を演奏する技能と思考力、判断力、表現力の育成と関わらせて習得できるようになっている。</p> <p>教育芸術社については、さまざまな楽器に対し、多彩なジャンルの音楽に触れられるような合奏曲が掲載されている。各楽器の基本的な奏法が身に付けられるように、写真とともに学びのポイントが明記され、親しみのある曲を演奏できるように工夫されている。</p> <p>教育長 音楽全般について意見を願います。</p> <p>大竹委員 技能を身に付けさせるためにも、段階的に指導をしていくことが大切だと思う。教育出版は、1年生の初めに斉唱や音域の近い二部合唱を多く扱い、学年が上がるにつれて難易度が上がり、互いのパートを聴き合いながら歌うことが求められるような教材になっているのがよいと思う。</p> <p>鹿山委員 同じく教育出版は、音楽に込められた思いについても触れられているのがよい。シベリウスのフィンランディアでは、冒頭部分の楽譜が掲載されており、重くのしかかった圧迫感がよくわかる。帝政ロシアへの怒りや独立に向かう人々の気持ちが伝わってくる。また、ベートーヴェンの遺書も掲載されており、音楽家にとって難聴という想像を絶するような状況の中で、名曲を書き上げた心境がよくわかる。時代背景や作曲家の思いを感じ取ることなどアナリーゼを意識した構成となっており、より深く音楽を感じることができる。</p> <p>大木委員 教育芸術社は、各教材の冒頭の学習の目当てが具体的で、何に留意して学習すべきかがわかりやすいと感じた。また、「学びのコンパス」で、学習の手立てが示されており、生徒が見通しを</p>
--	--	--

		<p>もって学習に取り組むことができると思う。</p> <p>大澤委員</p> <p>同じく教育芸術社は、各学年に「歌い継ごう日本の歌」として、現在も様々な場で親しまれ、歌い継がれている楽曲や唱歌が厳選して取り上げられており、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるように配慮されていると感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に美術について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>開隆堂出版については、表紙を魅力的に加工することで、生徒の美術に対する興味、関心を引き付けるとともに、色彩や質感、材質が感情にもたらず効果を意識させる工夫がされている。資料が知識、思考、鑑賞などで分かれているので、見るポイントがわかりやすく、発想から構想につなげやすい。</p> <p>光村図書については、材料や用具などの特性や効果的に表す方法が、わかりやすく資料にまとめられている。身近に感じられるものや生活に沿った表現が多様に提示され、生徒にとっては入りやすい題材が多く、生徒自身が表現したい表現方法や技法が理解しやすい。</p> <p>最後に、日本文教出版については、題材ごとに〈造形的な視点〉として〔共通事項〕や考えさせたい効果などを提示している。生徒作品を多く掲載し、同年代の発想や作品に触れることで生徒の活動への意欲を高める工夫をしている。</p> <p>教育長</p> <p>美術について意見をお願いします。</p> <p>大木委員</p> <p>開隆堂出版は、立体的に印刷された表紙となっており、生徒が興味を抱きやすい工夫がされている。また、つや消しの紙を使用しており、見やすいと感じた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>私も、開隆堂出版の表紙や裏表紙は素晴らしいと感じた。ガ</p>
--	--	--

		<p>ウディーのタイルやゴッホの油絵に感動して美術に興味をもつ生徒もいるはずである。また、授業の展開を意識した紙面構成になっており、題材のねらいや内容が大変わかりやすくなっている。</p> <p>大竹委員</p> <p>光村図書は、生徒が美術について考えるきっかけの一つとして、身近なアートを取り上げているところがよいと感じた。また、「みんなの工夫」、「インタビュー動画」で生徒一人一人の制作工程や作品へ込める想いが紹介されており、発想を広げる手がかりとなっている。</p> <p>大澤委員</p> <p>発想を広げるという点で言うと開隆堂出版は、資料が知識、思考、鑑賞などで分かれているので、見るポイントが大変わかりやすく、発想から構想につなげやすいと感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に保健体育について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>東京書籍については、学習課題の前にある、「見つける」では、自分の内面を見つめる活動、データを読み取る活動、生徒の思い込みに揺さぶりをかける活動、自分の経験を基に自由に考える活動など多様な活動を通して学習課題に迫っている。</p> <p>大日本図書については、各單元には関連する章末資料へのリンクが掲載されているため、学習内容から発展する様々なトピックにアプローチができ、一人一人の興味、関心に合わせて学びを広げている。</p> <p>大修館書店については、「学習のまとめ」では、実生活に関連付けたり、学んだことを生かしたりする課題を通して、仲間との対話的な学びや深い学びを実現することができる。</p> <p>学研については、事例や情報などの問いから、学習する課題を発見しやすく、興味、関心をもたせる工夫が見られる。</p> <p>教育長</p> <p>保健体育について意見をお願いします。</p>
--	--	---

		<p>大木委員</p> <p>東京書籍は、巻末のスキルブックが明解で、健やかに生きるために重要なことがらを身に付けられると思う。また、日常生活での経験やこれまで学習してきたことを振り返らせる発問が多く、生徒の主体的な学びにつながると感じた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>悩みを抱えている生徒も多くなっている。その点で言うと、東京書籍は相談窓口の記載があってよい。困ったときの相談の仕方についてもわかりやすく示しており、今の子供たちにとって大切な内容を扱っていると思う。また、各社ともお薬手帳の記載があるのはとても良いと思う。特に災害時など電気も来ない、インターネットも使えない状況において、紙に書いてあるお薬手帳は大変役立つと思う。</p> <p>大澤委員</p> <p>学研は、事例や情報などの問いから、学習する課題を発見しやすく、興味、関心をもたせる工夫が見られる。章末には、単元ごとの確認問題があり、キーワードも示されているため、学習の振り返りがしやすい形になっている。</p> <p>大竹委員</p> <p>同じく学研では、「情報サプリ」、「リンク」が示されていて、専門機関のウェブサイトなどを見ることで、さらに学びを深める工夫があってよいと感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に技術、家庭について報告をお願いします。報告は技術分野、家庭分野の順でお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>まず、技術分野について報告する。</p> <p>東京書籍については、適切に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度や考え方を養うために、「技術のめがね」、「最適化の窓」という欄を設けて、様々な制約条件のもとでの最適化の</p>
--	--	---

		<p>方法が示され、「技術の見方、考え方」が工夫されている。</p> <p>教育図書については、「社会の問題を自ら考え、解決に取り組む力」を育成するため、「技術のプラス面・マイナス面」、「社会の発展と技術」等について学ぶ工夫をしている。</p> <p>最後に、開隆堂出版については、身の回りの具体的な製品から基本的な知識、技能が習得できるよう工夫され、製品のイラストや写真が多く使われている。</p> <p>次に、家庭分野について報告する。</p> <p>東京書籍については、ユニバーサルデザインの視点から、UDフォント、図版やイラストのレイアウトや、カラーバリアフリーを意識した紙面作りをしている。また、右利き・左利きに対応した事例も掲載している</p> <p>教育図書については、近年の自然災害の教訓を踏まえて、衣食住などの災害対策や社会状況に合わせて重視されている消費生活など、日々の暮らしやこれからの生活に関わる話題が掲載されている。</p> <p>最後に、開隆堂出版については、調理実習例の手順が横流れで見やすく、科学的な理解を深める「調理方法Q&amp;A」で生活の疑問に自ら気付くことができるような工夫がされている。</p> <p>教育長</p> <p>技術分野について意見ををお願いします。</p> <p>鹿山委員</p> <p>開隆堂出版の技術は、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報など「技術」といっても学ぶ内容が多岐にわたっていることがよくわかるつくりになっている。技術との関わりの中で、SDGsをどう達成するかを考える活動にもつながると考えられる。</p> <p>大木委員</p> <p>同じく開隆堂出版では、巻頭に、ドラえもののひみつ道具と現在、未来の技術との関連も例示されている。技術分野での学びが未来に生きることを実感し、学習に前向きになれると思う。</p> <p>大澤委員</p> <p>東京書籍の技術分野は、写真やイラストを用いて持続可能な</p>
--	--	--

		<p>社会の実現に向けた取組紹介や提案が示され、学んだこととこれからの社会との結びつきを考えるようになっていく。これからの社会の発展技術を通して、技術の最適化やこれからの技術について考えられるように配慮されていると感じる。</p> <p>大竹委員  教育図書の技術分野は、見開きで、小学校の学習の振り返りから中学校卒業後の活用までが示され、学習内容と社会とのつながりを考えるきっかけとなっている。</p> <p>教育長  家庭分野について意見を願います。</p> <p>鹿山委員  開隆堂の家庭には、先輩からのエールのコーナーで、福岡伸一先生の「あなたとはあなたが食べたものでできている」という言葉が紹介されていた。生命現象の本質を示しているものであり、これが「生きている。つまり機械ではなく生物だ」という事。また、「スローフード」についても取り上げており、食べることの意義を見直すきっかけになっている。</p> <p>大澤委員  同じく開隆堂は、全体的なデザインについても配慮されている。UDフォントや読みやすい文章、カラーバリアフリーを意識した紙面作りがされていたり、本文と資料の字体や大きさを変えていたりするため、全体的に見やすくなっている。</p> <p>大竹委員  東京書籍の家庭は、幼児との触れ合いについて、幼児との触れ合い体験を写真で展開し、幼児との関わり方や幼児の生活の様子を見て学ぶことができる工夫がされている。</p> <p>大木委員  教育図書の家庭は、「資料」コーナーでクレジットカードの仕組みが詳しく説明されていた。成年年齢が引き下げられ18歳でクレジットカードを持てるようになった今、子ども達に正しい知識を身につけさせるという点でもとても重要であると思</p>
--	--	--

		<p>う。</p> <p>教育長 次に外国語について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長 東京書籍については、デジタル教科書は本文の速度変更やマスク機能などが活用できるようになっている。文法の説明動画や学び方動画で生徒が家庭学習にも取り組み易いように工夫されている。</p> <p>開隆堂については、巻頭の「教科書の構成」では3学年それぞれの目標と学習の流れがわかり、目標をもって英語の学習を進められるようになっている。巻末にあるWord Web、small talk表現集、アクションカードなどが言語活動に役立つつくりとなっている。</p> <p>三省堂については、Lessonの仕上げにあるGoal Activityではsettingで場面が設定されており、モデル文の読解を行い、話す活動へ系統立ててつなげられているなど、4技能を統合した活動ができるよう構成されている。</p> <p>教育出版については、「まなびリンク」は生徒がアクセスすることができ、生徒の興味関心を引き出すとともに、個別最適な学びをサポートできるよう工夫されている。</p> <p>光村図書についてはUnitが扉→Part→Goalと系統的に組み立てられているため、英語をくり返して使うことで4技能5領域のコミュニケーションを図る資質や能力を段階的に育むことができるような構成になっている。</p> <p>最後に、啓林館については、それぞれの活動にインプットとアウトプットにおける目標が示されており、生徒や教師にとって「何ができるようになるか」が明確で、学習の見通しが立つようになっている。</p> <p>教育長 外国語について意見をお願いします。</p> <p>大澤委員 光村図書は、言語活動の効果を高める工夫（聞く・読む・話</p>
--	--	--

す・発表・書く) という各技能コンテンツが示され、学習しやすい。また、各学年に「英語の学びガイド」があり、学習する上でとても参考になると感じる。

#### 大木委員

東京書籍では、1年において、小学校での既習単語が本文脇に記載されているなど、小学校での学習とのつながりが意識されている点がよいと思う。また、3年において、1～3年分の Key Sentences が記載されている点もよい。「Real Life English」のコーナーは、学習の動機づけとして効果が期待できるように思う。

#### 鹿山委員

開隆堂は、全体的に読み物としてよい題材が多い。チョコレート産業の「甘くない」話や、「海洋ごみ問題」は考えさせられ、英語の教科を超えた指導も期待できる。また、イルカはなぜおぼれずに眠れるのかなど、夢中で読んでしまう題材もあり、これは英語が楽しく身につくことにもつながる。英語は単なるコミュニケーションツールなのだと分かれば、肩の力を抜いて英語と向き合うことができるようになると思う。

#### 大竹委員

三省堂は、Lessonの中でも、パートがいくつかに分かれていて、多角的に英語に触れられる。リスニング、文章読解、対話、教科書脇には補足もあり、理解の補助をしてくれる作りになっている。各パートにタイトルもあり理解するポイントのヒントになっている。

#### 教育長

最後に道徳について報告をお願いします。

#### 教育指導課長

東京書籍については、同一の登場人物を各学年で登場させる「学年間連携教材」が配置されており、登場人物たちの3年間の成長を追うことで、今の自分を客観視するきっかけにできる。教育出版については、すべての教材の冒頭に二次元コード「まなびリンク」があり、内容理解を助ける「教材解説」が見られる

ようになっている。他にも、心情メーターなどのウェブツールや動画、外部リンクなどを見ることができる。

光村図書については、巻末に「まなびの道具箱」が付録されており、問いに対する考えを整理したり、話し合いを活性化したりするのに役立つ思考ツールが示されている。

日本文教出版については、道徳ノートには、自由に発問を記入することができる。学期末の振り返りのページがあり、印象的だった授業など成長の記録を残し、評価の資料として活用できるようにしている。また、先生や保護者のコメント欄があり、家庭との連携に生かすことができる。

G a k k e nについては、教材の前に主題名を置かないことで、多様な考えを引き出し、自らの課題を発見する力を育てる工夫がある。教材への関心を高めるキーワードが用意されている。

あかつき図書については、何年も前から扱われているいわゆる名作と言われるような教材と、SNS、多様性、いじめなどを取り扱った新しい教材とがバランスよく取り上げられている。

最後に、日本教科書については、巻末のウェルビーイングカードを活用することで授業の中で内容項目そのものについて学ぶだけでなく、生徒自身が自分はどういう価値を大切にしているのかを意識したり、それについて生徒同士で議論したりすることをサポートできるつくりとなっている。

#### 教育長

道徳について意見をお願いします。

#### 大澤委員

G a k k e nでは、さまざまな分野で活躍する今を生きる人たちに関係する教材や、人生の足跡からたどる学びの宝庫である先人たちに関する教材など、生徒が興味関心をもって学べるよう、心に引き込む教材を多数掲載している。

#### 鹿山委員

良いテーマを載せた会社がとても多かったが、中でも東京書籍の「夜は人間以外のものの時間」がとても良いテーマである。地球上のほとんどの生物は、生きる領域を守っている。なぜ領域を守るのかというと、それは他の種と無益な争いが生じるの

を避けるためである。つまり、闘争を避けるために棲み分けをしていて、棲み分けをすることによってこの地球には豊かな多様性が実現している。この「棲み分け」という考え方はとても大切であり、他の領域にも敬意を払うならば、「いじめ」も減るだろうし、豊かな多様性も守られ、地球の環境や資源も「持続可能」になっていくのだと思う。

#### 大木委員

光村図書の巻末の「学びの記録」の用紙は、33回分が一枚の紙になっている。生徒の負担が小さいので、毎時間、全員が継続して記入し、定期的に自分自身のことをふりかえることが可能であると思う。

#### 大竹委員

教育出版では、いろいろな考えを聞く時間、自分の想いを言う時間になるように「どうやって学ぶの？」が設定されている。内容を難しく考えさせないように、明瞭にシンプルになるような方向性が示されている。正解不正解のない道徳において、多種多様な考えを引き出す工夫がされている。

これより非公開とする。

#### 教育長

それでは、採択に移る。まず始めに、採択に係る報告について願う。

#### 教育指導課長

選定委員会では、中学校教科用図書国語「光村図書」、「教育出版」、書写「教育出版」、「三省堂」、「光村図書」、社会 地理的分野「東京書籍」、「教育出版」、歴史的分野「東京書籍」、「教育出版」、公民的分野「東京書籍」、「教育出版」、地図「帝国書院」、数学「東京書籍」、「教育出版」、理科「東京書籍」、「学校図書」、「啓林館」、音楽 一般「教育芸術社」、器楽合奏「教育芸術社」、美術「開隆堂出版」、「日本文教出版」、保健体育「東京書籍」、「G a k k e n」、技術・家庭 技術分野「開隆堂出版」、「東京書籍」、家庭分野「開隆堂出版」、「東京書籍」、外国語「光村図書」、「開隆堂出版」、道徳「G a k k e n」、「日本文教出版」が選定され

		<p>ている。</p> <p>教育長 採択は、行田市教育委員会会議規則第32条に規定により「投票」により決定してよいか。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長 次に、投票を行う。投票者の人数は5名で、会議規則第34条に基づき、投票立会人に鹿山委員及び大澤委員を指名する。</p> <p><b>【投票用紙配布・投票】</b></p> <p>教育長 次に、投票結果の報告を行う。 令和7年度使用中学校教科用図書国語「光村図書」、書写「教育出版」、社会 地理的分野「東京書籍」、歴史的分野「東京書籍」、公民的分野「東京書籍」、地図「帝国書院」、数学「東京書籍」、理科「東京書籍」、音楽 一般「教育芸術社」、器楽合奏「教育芸術社」、美術「開隆堂出版」、保健体育「東京書籍」、技術家庭 技術分野「開隆堂出版」、家庭分野「開隆堂出版」、外国語「光村図書」、道徳「G a k k e n」である。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長 以上で本日の定例会を閉会とする。</p>
--	--	---

そ の 他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項		
1	次回定例会開催予定日	令和6年8月22日(木) 午後2時00分 行田市産業文化会館管理棟 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

教 育 長

委 員

委 員